



絵：ひらっち

today's guest

ファジアーノ岡山

2008 JFL 第 4 位

■対戦成績
Jでは初対戦

2009J2

■順位表 ■ 第 1 節終了
勝点、得失点差、得点、岐阜戦の戦績
(岐阜から見て)

1 湘南	31p +12 21 A
2 大阪	29p +10 20 A●
3 仙台	28p +13 20 H●
4 甲府	25p + 5 15 H●
5 水戸	24p + 5 22 A
6 徳島	21p + 5 16 A●
7 札幌	21p + 1 18
8 富山	19p + 6 14 A●
9 東京V	17p - 3 13 H
10 草津	16p - 4 19 H●
11 愛媛	15p 0 14 A●
12 熊本	15p - 3 15
13 福岡	15p - 3 12 H●
14 鳥栖	15p - 5 15 H●
15 岡山	12p - 5 11
16 岐阜	9p -13 8 --- --- ---
17 栃木	7p -11 8 A●
18 横浜C	6p -10 9

次回 HomeGame

第 1 7 節

ロアッソ熊本戦

5/24(日) 13:00

@岐阜メモリアル
センター長良川競技場

投稿募集!

gdaidohr@hotmail.co.jp

お待ちしております!

F C 岐阜大好き通信 (岐大通)

5/9号

編集発行:『岐大通』製作委員会

今号の製作担当: ささたく & 吉田 鑄造

●おしらせ●

2009年版『岐大通』は、試合数増加のために全ホーム戦での発行を断念し、3~4節ごとに発行の体制で臨んでいます。今後の発行予定です。

5/2熊本戦→6/14湘南戦→7/5富山戦……

よろしくお願い申し上げます。

2009J.League Division2 第 1 節 ファジアーノ岡山 戦

5/9(土) 17:00~

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

ドローは収穫か課題か 岐阜 0-0 東京 V 【第 1 節】

●東京ヴェルディ戦は富山戦の敗戦を受けてどう戦うのか、注目でした。この試合は富山戦の試合がうそのようないい攻めができていたのではないのでしょうか。ヴェルディにも攻められましたが、G K 野田がナイスセーブ。何回、恭平コールを送ったか。よくゴールを守ってくれました。

考えれば、失点しない限りは負けはないんです。得点できなければ、しっかり守って失点を防いでいけばいいじゃない。あくまでも攻撃意識を持った上でのことですけどね。今日は応援中心そばで観戦していましたが、熱くなりますね。なんか病みつきになりそうです。もちろん、次のホームゲームの岡山戦も応援中心そばで観戦しますよ。(たつぽん)

●せっかくの P Y G L I ・サンクスマッチ。踊るビッグフラッグと、ボールにはためくウチとヴェルディのフラッグを思い出しながら、やっぱりアレは勝っておかなきゃいけない試合だろ…と。

大黒は昨日もスゴかった。上背はないのにハイボールに競りかけ、ボールを収めて捌いての万能ぶり。中でも、後半の胸トラップを自分の動き易い位置に落とし、背負った D F をスルッと交わして放ったシュート。揺れるネットを見て「ヤラした…」と思ってしまって、それがサイドネットと気づくのに一瞬遅れた。ただ、この日のヴェルディは大黒だけ。あとはなんにもなかった。それだけに、もったいないなあ~、と思うのだ。

脳裏をよぎるのは昨季の広島戦。余裕なのか何かはわからないが、ヌルい試合で引き分けたあと、気合を入れ直したヤツらとの 2 戦がどうなったか? というのを…。昨日のウチの選手はガンバった。90 分間よく走った。ただ、大黒以外ノリのよくない緑先輩は、まだまだ引き出しがたくさんあるハズ。しょっちゅう見てるワケじゃないが、個としても組織としても、ヤツらのポテンシャルはこんなもんじゃなかった。

それに比して、ウチは、昨日のように 90 分間走り続け、そのうえで何か、があって得点となる。実にネガティブな思考だが、得点の形を保持しているようなヴェルディと、その絵が見えてこない岐阜。勝つためには失点しないこと。それが命題のように思えてしまう。走りきることができなければ、あるいは先取点を取られたら…。少なくとも、今季はそんな試合が多くなるんじゃないのかな?

そして、次節は大阪戦。ヴェルディにはひとりだけだったけど、次は売り出し中の日本代表が二人。そして、J 初ゴールをウチから挙げた助っ人 F W がいるチーム。だからこそ、勝利の余勢を駆って挑む、のがベストだったんだけどね…。形を作れたダブル・カン・ボランチで守備を固めて。しかも、前目を和範で。

昨季第 3 クール、熊本戦での同点ゴール。あのミドルシュートの持ち主を、ウチのような得点力が期待できないクラブが、守備的ポジションじゃもったいない。右利きなのに、広島戦・横浜戦、そして熊本戦とゴールはいずれも左足で、なキャプテンに長居での暴れっぷりを期待する。(ぐん、)

●雨の長良川での鳥栖戦、打ちのめされたアウェー富山戦をうけての東京 V 戦。そして、この試合はスポンサーであるピグリのさんの名前の入った「ピグリサンクスマッチ」。そのため、前回の雨の長良川のサブグラウンドにてお披露目されていたピグリさん提供のビッグフラッグを試合開始前に掲出するというイベントもあり、周りのサポたちは「ビッグフラッグ掲出に失敗はできないし、ここで 3 連敗するわけにはいかない」と覚悟を決めて試合に臨んでいた。

試合前の毎回おなじみサポーターやファンの集まる一時間前ミーティングで、ビッグフラッグ掲出協力のお願いとタイミングの説明があり、ピグリの社長さんとロックバンド「PENICILLIN(ペニシリン)」の G I S H O さんの挨拶も。ミーティング終了時には、チャントを歌いつつスタンドにもどっていった。

そして、本番。ビッグフラッグ掲出も皆さんの協力もあり、無事成功したみたい。(僕は後から写真で確認。) また、参加した人の話では楽しんで頂けたみたい。おそらく、秋にももう一回「ピグリサンクスマッチ」があるらしいので、そのときにも上手いきそうですね。

そして、試合は 0-0 のスコアレスドロー。この試合から、今期初めての菊池完、菅和範の「カンカンボランチ」で完をアンカー(守備的な選手)として使った。まさに言葉通りに「碇(アンカー)」になって、中盤を押さえた。が、攻撃陣はもっともっとシュートを打つても良かったのではないかと。

鳥栖戦の時にも思ったのが、得点は T O T O B I G と同じで、買わなければ当たらない、打たなければ点は入らない。僕は打ったシュートが全部入るとはおもっていない(もし全部入るのなら、欧州でプレーしているはず)。だから、僕が見たいのはシュートを打って打って打ちまくる積極性。極端に言えば、シュートを打ち疲れる岐阜の F W を見たい。特に 10 番の選手がシュートを打ちすぎて足がつるのを。

この試合の後、「また来たいね」と言っていた家族がいたが、長良川に来たときはゴールと勝利が見られるように期待したい。(緑の小太鼓)

Living in Woods

本庄工業株式会社

<http://www.honj-woodream.com/>

雨の降りしきる中の敗戦 岐阜 0-1鳥栖【第1節】

● 酷い試合でした。乗り気でない娘を説き伏せて連れてきたのに「もう観たくない」とまで言われ返す言葉も無く残念です。天候の影響もあり観客数は最低記録更新。先行きは不安だらけですが何とか打開しないと借金膨らむばかり。せめて魅力ある試合内容を望みます。

それにしても雨中の戦い方を知らないのか。鳥栖はしっかりしてましたね。（ミスター珍道）

● 鳥栖戦は雨の中での試合になりました。ずぶ濡れになりながらもボールを追いかける選手には頭の下がる思いです。芝生にかなり水が溜まり、ボールが転がらないコンディション。もう少しこれを逆手にとる攻めがあってもよかったかなあ、と思いました。守りはよく1点で済んだなあ、でしたね。何回かゴール前に攻め込まれて。気候とともに冷や冷やでした。ゴールシーンがないと寂しいですね。結果はともかく、1試合1ゴールは決めてほしいですね。最近、草津戦でヒーローになった染矢くんに注目しています。彼がピッチにいたるとなんかテンション上がります。この試合も途中から出場。何かやってくれるんじゃないかと期待しています。これからも背番号20に注目ですよ！雨の影響とはいえ、観衆が1400人は、寂しいですね。（たつぽん）

● 雨が時折激しく降るような気候の上にピッチは多量の水を含んで、水溜りができる箇所も。このような条件では、パスをつなぐサッカーなどとてもできそうもないのに、晴れたときと同じようなサッカーをしていた。やはり、シンプルに縦ポンで走りこむサッカーがベストではなかったか。しつこくそれを続けていれば、活路を見出せたかもしれないが。そういう点で、スタメンやリザーブのチョイスにも疑問だった。（岐阜の誇り）

● 激しい雨の中行われたまさに水中戦。鳥栖は濡れた芝生でボールが止まることを計算に入れた上でのプレーが目立った。一方岐阜は対応がまちまちで意思疎通が図られていない状況。ボール目がけて守備に飛び込んでいく選手たちから必死さは伝わってきたがどうしても後手にまわる印象はぬぐえない。

負けるべくして負けた。鳥栖の選手との経験というかサッカー人生の差が垣間見えた試合だった。ならば岐阜の選手たちもこれから経験を積んでいけばよい。ただし今後同じ過ちを繰り返してはならない。（ST57）

● こんなことを書くべきではないと思うが、25日は鳥栖が相手でよかったと思う。理由は、共にチームが若く走り切るサッカーをするチームだったから。この試合での決定的な差は、チームの経験と基礎プレーの質。ボール周辺の選手の動きの差が明確に現れた。選手自らがピッチコンディションを冷静に考えた上で自分達のサッカーをした鳥栖と自分達の型にこだわった岐阜。決勝点は、雨中で思い切り良くシュートを打つことの重要性を見せた結果。偶然ではなく必然。試合後の挨拶で足取り重く下を向いている選手には、「次がんばれ」としか声をかけることしかできなかった。とはいえ、ホームスタジアムで練習をできないチーム事情は多少考慮してあげたい。（ち～な）

● 実に後味のよろしくない試合。アウェイ愛媛戦ほどまでではないにせよ、ピッチ上だけでなく、采配も含めて意志も意図も感じられるものがなかった。これが、ここまで同じ星勘定でも、レギュラーFWが抜け、調子が上がらない「だけ」の鳥栖と、現時点での精一杯の岐阜の差なのかな？ こういう悪コンディションの中でこそ、技術と共通理解の部分が露わになるのかな？

ハーフコートマッチ。まさにそんな試合。シュート4本では、しかも相手Gを慌てさせることもないシュートでは試合に勝てない。しかも、こんなコンディションでは、パスもドリブルもコントロールが難しい。ならば、キレイな、あるいはめざすバゼーション・サッカーは捨て、文字通り泥臭くても、単純にゴール前にボールを入れていくことを優先するべきではなかったのか。この夜、スピード系の染矢が活きる場面はない。しかも、日程が押し詰まっていることを考えれば、疲れを考慮して休ませるべきではなかったのか。洗一を残し、サブにFWがいなければ代わりに川島を入れての空中戦がベストだったのではないのか。

長良川での、今夜のようなコンディションで、ボールをコントロールができたのは、リフティングで運んだストイコピッチだけだ。オマケに、恭平のキックはタッチラインをめざしたり、ハーフラインを越えなかったり、と散々だった。鳥栖の室のキックが、当たり前のようにハーフラインを越えていくのが羨ましかったよ…。失点シーンも含め、恭平の日ではなかったんだろう。この経験を生かしてほしい。（ぐん、）

突きつけられた完成度の差 富山 3-0岐阜【第1節】

● 富山との試合は順位の違いがそのまま結果に現れましたね。戦略も戦術も感じられぬままの惨敗。ゲームをコントロールするパサーがいない。「そういえば以前岐阜にプロサッカーチームがあったね」と言われぬよう選手もフロントも我々サポも危機感を持って臨みましょう。富山で頂いたチューリップ、大切に育てます。（ミスター珍道）

● う～ん、なんというか、富山の注文にきっちりハマってしまった…、そんな感じ。

前節、大阪を相手に完封した富山は、同じようにゴール前に鍵を掛けて岐阜を完封。違っていたのは得点したということ。だが、ウチもチャンスがなかったワケじゃない。少なくとも二度は決定機があった。後半の秀人のソレは、最終ラインでのパス出しからフィニッシュまで、デザインしていたようなオーバーラップ。正吾のアレは…、まあ、あの位置でカットして突進するのが彼の持ち味（笑）文字通り苦笑するしかない。しかし、確かに強固な鍵だったが、決めるべきところを決めなければ勝利を得るのは困難だ。

今日の試合は、愛媛戦、前節鳥栖戦ほどの脱力感は感じない。ただ、3点目を失ってからは、もはやサッカーの体をなすことすらできなかった。一生懸命やっているのだが、脳に酸素が回っていないような状態で、ボールをつなぐことも覚束ない。追加点を取られなくて、ホントよかった…。

もちろん、厳しいシーズンになることはわかっていた。それでも、今日のような試合が、残念ながら今季は何回かあるんだろうな…、と改めて自身に言い聞かせておく。

ただ、選手たちをお願いしたいことがある。「決して、途中であきらめないで。とにかく、点を取りに行つて」と。現地組も、TV観戦組も、情報のみの人も、岐阜のゴールと勝利のみを待ち望んでいる。キツくて、キレそうになって、自分のために戦えなくなったら、誰でもいいから、その誰かのために戦ってほしい。声援を送る誰か、勝利を願う誰かのために戦ってくれたら、それはきっと伝わると思う。

でも、また土曜日は長良川へ行くさ。P Y G L Iのビッグフラッグの件もある。彼と共に喜びたいね！（ぐん、）

● 1点目がすべて。前半10分に失点。まだ前半10分だから取り返すチャンスは十分にある、という気持ちが裏目に出たか。スカパー！実況が言うほど組織的ではないとは思うけど、最後には体を投げ打ってシュートをブロックする富山ディフェンス陣に対し工夫も何も無く得点を奪えないまま時間だけが過ぎ、焦って前がかりになった所をカウンターで失点で敗戦。週末の鳥栖戦と比べても良い攻撃ができていただけに、あの早い失点が無ければもっと落ち着いて試合を進められただろうにと悔やまれます。

若さと勢いが良い方にも悪い方にもでるのが今のFC岐阜。開幕から毎試合ジェットコースターのような試合が続いています。連戦の疲れもあるでしょう。勝てない試合が続いて「こんなはずでは…」と自信を無くしかけている選手もいるでしょう。でも立ち止まっている暇は無い。失敗したらそれを糧に次に生かすため練習をし修正すれば良い。

自分のプレーに自信を持ち、
自分のプレーに責任を持ち、
自分のプレーに誇りを持ち、
恐れずに前を向き戦いそしてゴールを奪おう。

共に勝利の喜びを分かち合うために。（かただ）

ALADDIN

何も無い店だけど・・・

心の花が咲く・・・

何も無い店だけど・・・

心癒される・・・

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目（木ノ本公園東）

健闘も明確になる“個”の差 C大阪 1-0岐阜【第1節】

●長居上陸！廻りはもちろんALLピンク。変わりもの？の私はこういうデンジャラスな雰囲気は大好きです。勝て！奇跡は起こす為にあるのです。（緑のバンダナ）

●昨年第一クールと同様の0-1。う～ん...、選手は確かによくやってるんだよね。DF陣はヴェルディ戦と同じく、特に恭平は何点も防いであげたしね。ただ、シュートを12本も撃ってるような気がしなかった。それは大阪が攻撃的に来て、おかげで何度となく絶好のカウンターの機会を得ながら（もらいながら？）、得点を奪えなかったことに起因するのかもしれない。

決定機を迎えながら、シュートが枠に飛ばせなかったり、撃つことができなかったり、さらには走りきることや、相手DFを振り切ることができなかったり、あげくにラストパスが味方に届かなかったり、大きかったり...、という様々な失敗場面を目の当たりにしたからかもしれない。

今書いたようなことを数えれば、チャンスは何度もあったんだよね。もちろんそれは、C大阪にも言えることだが。

ただ、どうしても彼我の差は思い知らされた。個々の能力、テクニクの差は歴然としていた。だからこそ、ボールをもっていない選手は、持っている仲間を信じて走りこめるんだな、と思った。その表れが決勝点。カイオが走り出したのが先か、石神のクロスが先かはわからないが、走りこめばそこへクロスを出してくれる、クロスを上げればそこへ走りこんでくれる、そういうお互いの、なんというか条件反射的な共通理解がもたらした得点のように思える。「仲間を、仲間の能力を信じてる」そんな信頼関係ができあがってるような気がして、正直羨ましかったし、悔しかったよ。

逆に、ウチは残念ながら、まだそこまでのレベルにはないように思う。無理もない。合わせ始めてから、まだ数ヶ月だもんね。欧州CLレベルの選手ならともかく、まだまだ時間がかかるのかもしれない。か、個々の能力が劣るのなら組織的にやるしかない。

だが、組織的にやるにも能力が必要、というジレンマ。能力のある選手たちが、時間をかけて、有能な指導者の元に組織的に戦う。昨夜の大阪は、まさにそれで、この第一クールで戦った中では一番強いと感じた。そう考えれば、0-1はよくやった、と言わなきゃなんないのかな？

でも、やっぱり、昨夜の試合に「よくやった」と声かけたり、拍手したりはできないな。もっとも、ポカスタでは拍手したから言行不一致なんだけど（苦笑）。なんのかんの言っても、ゴールが見たいし、勝ちが見たいんだよ！そんなわけで、今度の土曜日こそはヨロシクなッ！！（ぐん、）

●小雨が降りしきる長居スタジアム。C大阪は昨季唯一勝ち点を獲れなかったばかりか、3試合で12点も獲られてしまった嫌なチーム。その相手に前節・東京V戦と同じく菊池をボランチに入れ、守備を固めて臨むFC岐阜。優勝候補筆頭との対戦に苦戦も予想されたが、試合が始まると前節と同様、J2屈指の攻撃力を誇るC大阪に対しても集中力を切らさず、CB川島をはじめ全員が素早く身体を寄せて全力で守り続けてゆくFC岐阜。また今節はGK野田がスーパーセーブを連発してチームを鼓舞する。これに応えるべく、何度も良い形をつくって攻め込み、惜しい場面も何度かあったものの、あと少しパスやシュートの精度が足りず、相手のゴールを奪うまでには至らない。後半12分、カイオにヘディングを決められて失点するが、その後もチームの闘う気持ちは衰えず、献身的な守備と積極的な攻撃を続けるものの、残念ながら試合終了...

昨年獲れなかったC大阪相手の勝ち点が目の前にあっただけに非常に悔しくもあり、一方では優勝候補相手に最後まで走り続け、闘い続けた我々がチームを褒めてやりたい気持ちもあり...複雑な想いだった。それと、ここ数試合で改めて感じるの「やはり決める時に決めないと厳しい」「もっと勇気と自信を持ってシュートを撃って欲しい」ということ。チームの状態は悪くないだけに、あと少し。そして、ほんの僅かなきっかけがあれば...

さて、今節はG連戦の最終戦・岡山戦。約2週間で5試合なんて強行日程、流石に若い選手達でも苦しいはずだ。そんな時こそ、僕らの拍手や声がチームに力を与えてくれると信じたい。実際、選手達はそう言ってくれているのだから...。だから、今日もチームを後押しし、勝利を笑顔で分かち合えるようにスタジアム全体を声援で包みたい。その為に僕も最後まで拍手と声を送り続けたいと思う。（ささたく）

●この日、僕は仕事のため長居には行けなかったもので、FC岐阜PRショップのスポーツバーに仕事終わりに直行。着いたときにはちょうど前半20分。見ると、まだ0-0ととてあえず席についてドリンクを注文。どうやら川島と野田がいいらしい。スカパーのアナが「またも川島」、「またも野田」。またもっていうけど、今度こそはミスする（防げない）と思っているからですかね。そうだとしたら、まったくもってなめられてますね。

と言っているうちに前半終了。バーのマスターと話をしていた出てきた感想は「悪くないね」。後半開始。すると、秀人がC大阪カイオに振り切られて失点。その後、香川にバーに当たるシュートを打たれたりするが、結局このまま試合終了。0-1で敗戦。

試合後、マスターとの話で出たのが岐阜の被決定機（ピンチ）について。実は岐阜は意外に被決定機は少ないということ。でも、失点は多い。これはどういうことかということ、「今年の岐阜のピンチは大ピンチ」ということではないか。つまり、ちょっとしたミスや気の緩みが即失点になっているということ。

確かに、今年の岐阜の試合を振り返ると、負けた試合でもあの失点のときのミスがなければ引き分けれたと試合後に言っていたように思う。

そう考えると、今の岐阜には瀬戸際の弱さが出ているのかもしれない。こればかりはなかなか直しにくい、ピンチを作らないように集中を続けることとしかいえないが。もっとも、それはきついので、いかに集中のメリハリをつけるかを数をこなして覚えるしかないのかもしれない。（緑の小太鼓）

【セカンド】全社ノ天皇杯、 第1関門を突破！

●5月3日の試合に3-0で勝利し、全国社会人東海大会出場と岐阜県天皇杯社会人代表の切符を取得。正直なところ辛勝。苦しい時間帯もあったがGのスーパーセーブで流れが変わり追加点で突き放す。

相手チームも質が高く印象に残った選手も多々。今シーズンはリーグ戦（初戦は6月14日予定）で再び対戦します。県リーグ自体が盛り上がることは、結果的に選手の質の向上や観客増加に直結。最終的に岐阜県内のアマチュアサッカーの底上げにつながることを期待してます。（ちな）

●2ndの試合終了後、納得行かない事件がおきる。信じられない話だが、とある審判がある選手からの握手を拒否するシーンを目撃。審判も人間であるが、後味の悪さが残った。

俺は、結果はどうあれ試合後は審判や相手選手に敬意を払う姿がスポーツマンシップだと思っている。この事件で皮肉ではあるが、一ファンとしてFC岐阜という組織をサポートし続けようと強く思った。

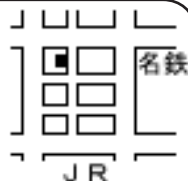
FC岐阜の理念である「子供達に夢を」というスローガンはチームだけに向けられたものではない。フロント、選手、応援団、観客等サポートする一人一人に向けられたものとも受け取るべきだろう。今西GMの提唱されている「スポーツを通じ地域に溶け込むことで人間性の向上を補助する」の重さを痛感した。（ヘルハース）

さて、岡山戦といえば2年前の12月。

●2006年12月2日地域決勝二日目、大分総合運動公園サッカー場Aコート。まるで野原のようなピッチで当時東海リーグ所属のFC岐阜と中国リーグ所属のファジアーノ岡山はJFL昇格をかけて戦いました。前日に1敗してがけつぐちのFC岐阜は片桐の2ゴールでこの試合を制し翌日のV・ファーレン長崎との最終戦にも勝ってJFL入替戦へと駒を進めます。

あの時、打ち負かした相手を試合後見つめる余裕は残念ながら僕にはありませんでした。今日、2年半の時を越えて再び彼等と邂逅します。戦い終わって僕は何かを感じるのか？そんな楽しみは一戦です。（TAG）

「いらっしやいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休：日曜日（今日は営業しています）



FC岐阜 2009 応援チャントピックアップ

チームチャント

- バモ岐阜バモ (Vago y A torrente) <http://jp.youtube.com/watch?v=HdzJSLV2kbY>

バモ岐阜バモ 友よさあ行こう ナダレろ 暴れろ 我等と
熱い気持ち バモ岐阜バモ いざ 今戦おう

- 誇り胸に (Hay che bostero) <http://jp.youtube.com/watch?v=uUEPdWN4FEE>

俺達が 共にいる どんな時も お前と
今ここで みせる岐阜 誇り胸に 闘え

- 情熱を胸に (オリジナル)

燃えたぎる情熱を その胸に持ち戦え
恐れず前を向き ゴールを奪え

タオル振りチャント

- モリヤマ (CULTURE CLUB /Kama Chameleon)【タオル振りチャント】

エーフシーギーフゲットゴール ゲットゴール ゲットゴール

- ネットを揺らせ 郷ひろみ 誘われてフラメンコ【タオル振りチャント】

ネットを揺らせユーラユーラ ネットを揺らせユーラユーラ

- パパーラ (パパーラ /B-DASH) 【タオル振りチャント】

パパーラパーパー パパーラパー
パパーラパーパー パパーパー



個人チャント

- 08徐冠秀 (アリラン牧童 /Koyote 038~) <http://jp.youtube.com/watch?v=hOKR22C7KaA>

ラー ララララー
ファイティン ファイティン SEO KWAN SOO!
(GO!・GO!・GO!・GO!)

- 14嶋田正吾 (ザブングル) <http://jp.youtube.com/watch?v=qOAPLQ B15s>

疾風のように アレ嶋田 アレ嶋田

- 20染矢 一樹

ゆけーゆけーバモ染谷 ゆけーゆけーバモ染谷
岐阜の韋駄天バモ染谷 オーレッ!!バモ染谷

選手入場時は
『緑のアイテム』
(タオマフ 旗 etc) を掲げて
会場を盛り上げよう!